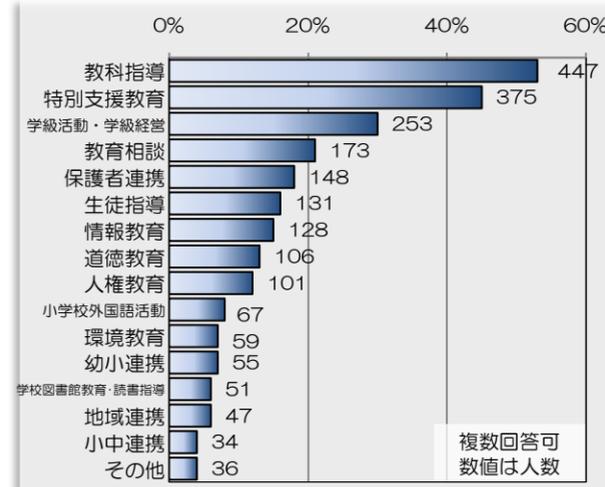


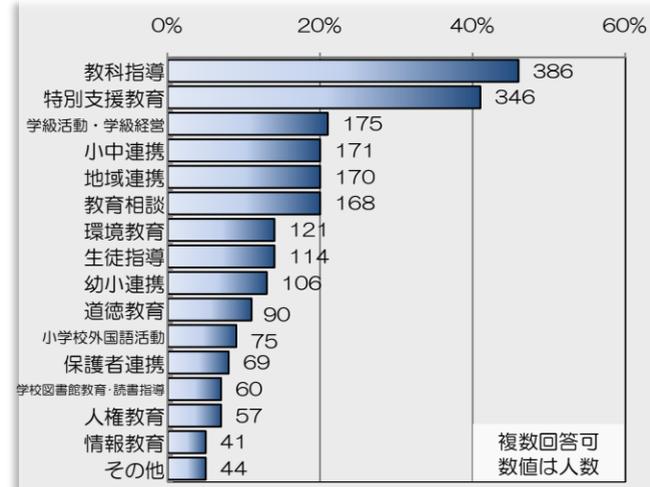
平成23年度滋賀県総合教育センター 事業にかかるアンケート結果

840名の先生方から
回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。ございました。

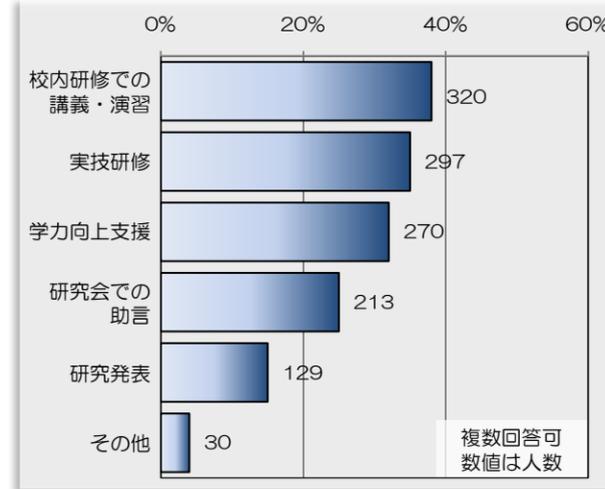
どのような内容の研修・講座があれば受講したいですか。



どのような分野・内容の研究をすべきですか。



出前支援にどのようなことを期待しますか。



8月に、県内の抽出学校園・市町教育委員会・教育研究所の先生方に協力をいただき、事業にかかるアンケートを実施しました。(一部抜粋)

◆『受講したい研修・講座の内容』、『研究すべき分野・内容』として、ともに教科指導や特別支援教育に関してニーズが高いことがわかります。

◆『期待する出前支援の内容』として、校内研修での講義・演習のニーズが高いことがわかります。また、実技研修のニーズも高まっていることがわかります。

これらのアンケートや研修講座の振り返りシート等をもとに、次年度の事業を計画しています。

志 笈

滋賀県総合教育センター 所報
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
TEL(077)588-2311 FAX(077)586-0011
http://www.shiga-ec.ed.jp/

明日を生きる子どものために 次長 河口 眞佐男



希望が丘の山々に降りそそぐ穏やかな日の光にまぶしさを感じるころとなりました。長い冬の寒さにじっと耐えてきた木々の新芽もずいぶんとふくらみ、今にも若葉が顔を出しそうです。繰り返される自然の営みと四季の変化。いつものように今年も間違いなく春がやってきました。

ただ、今年の春の訪れには誰もが特別な感慨を抱かざるを得ないのではないのでしょうか。昨年3月11日に発生した東日本大震災とそれに続く福島第一原子力発電所の事故から約一年。肉親や大切な方を亡くされたご遺族や、未だ仮設住宅での不便な生活や他所への転居を余儀なくされておられる方々は、どんな思いでこの春を迎えられるのかと想像するだけで胸が塞がります。亡くなられた方々のご冥福と被災地の一刻も早い復興を願うばかりです。しかし、なかなか見えてこない復興への道筋や被災地の厳しい状況に不安や苛立ちを感じるのも現実です。その中で、日々、新聞等において、被災された方々の復興への意志を表明するような力強い取組の様子や、校舎を失った子どもたちが不慣れた環境で元気ががんばっている姿が紹介されています。その記事に感動を覚えると同時に、明日を生きる子どもたちのため、今、私たちができること、しなければならぬことにしっかりと向き合っていくことが大切であるとあらためて強く感じているところです。

さて、「役立つセンター、出かけるセンター」のスローガンのもと、平成23年度の総合教育センターにおける諸事業を無事終えることができ、皆様方のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。1月末現在で初任者研修等の指定研修は244回、延べ人数13,547人が、希望研修では30講座に2,335人の方が受講されました。講師をお願いした先生方には、お忙しい中、資料等の

ご準備をいただきました。その熱意ある講演、講義により充実した研修となり、企画する側としても大変喜んでおります。また、受講者の皆様には毎回「振り返りシート」の記入にご協力いただきました。内容や方法等についてのご意見やご感想をもとに、さらに改善を進めていきたいと考えております。

また、学校園からの要請を受けて出前支援、出前発表を行いました。これも1月末現在で、支援件数159件で支援対象者数4,643人もの先生方に参加いただきました。多様化する教育課題への対応において、少しでも先生方のお役に立てればと、一層の充実に向けて参りたいと思います。

研究事業においては、県内27校の研究協力校と69名のトータルアドバイザー、専門委員、研究委員の皆様のお力添えのもと16本の研究が進められました。成果については研究紀要にまとめるとともに、2月14日に行われた研究発表大会や各研究協力校での研究報告会で発表させていただきました。また、当センターのe-Learning教材および教育学習情報コンテンツとして研究紀要やその概要・成果をまとめた要旨集などを公開しておりますのでご活用をお願いします。

厳しい社会情勢の中、学校教育に寄せられる期待や願いにしっかりと応えることは教育に携わる私たちの使命と考えます。当センターにおいても、「役立つセンター、出かけるセンター」のスローガンに加えて新たに「行ってみたくなるセンター、使ってみたくなるセンター」として、より現場のニーズに応え、教師力および授業力のさらなるアップに寄与できる「存在感のある脇役」であることを目指して来年度も取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



河口 眞佐男 画

ぜひご利用
ください

おもしろ理科サポート — 小学校理科の教員研修へのスタッフ派遣 —

小学校の理科の授業をより充実したものとするために、先生方の研修支援を科学教育スタッフが講師となり行います。

内容は、小学校理科の様々な単元で利用でき、子どもたちに興味・関心を引き起こす数々の小実験・科学工作の実習研修です。実習が中心ですから、楽しみながら授業力のスキルアップができます。放課後を利用した研修会にぜひ利用してください。

内容例

- 顕微鏡の扱い方 (見てみよう! フランクton、花粉等)
- 電磁石を使ったものづくり
- 身近なものを利用した指示薬
- 月の見え方説明器の作成と活用
- 理科ナビハイパーの活用例



平成24年度の構想

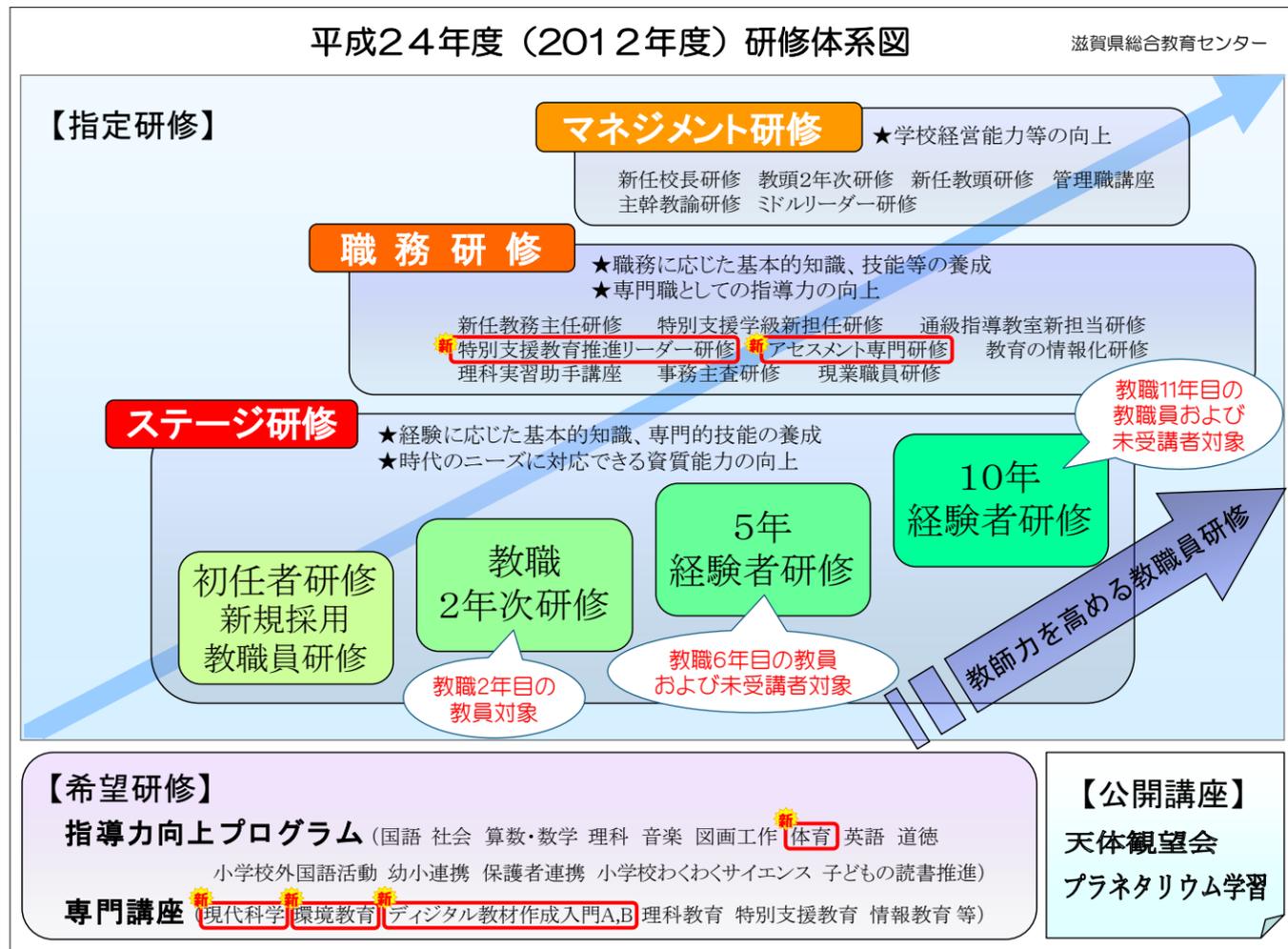
『センターに行ってみよう！センターから来てもらおう！』

明日を生きる子どもに確かな学力と豊かな心を
—教職員の指導力・資質の向上を目指して—

■ 教職員の専門性や指導力の向上を図る 研修事業

明日を生きる子どもに確かな学力と豊かな心を身に付けさせるうえで、教職員の指導力と資質の向上は欠くことのできない不易の課題です。

滋賀県総合教育センターでは、滋賀の教職員が教育公務員として広く県民や社会から信頼を得られるような資質能力を育成するとともに、学校現場ですぐに役立つ実践的指導力および今日的課題への対応力を養成することを目的に、悉皆による法定研修や職務研修などの指定研修と、自らのニーズに応じて受講できる希望研修の二本柱で教職員研修を実施しています。



■ 今日的課題に応じた先導的実践的研究を推進する 研究事業

平成23年度の研究の概要をまとめた要旨集と研究ダイジェストCD(1研究3分程度の紹介動画を収録)を各学校園に配布予定です。ぜひご覧ください。また、センター所員が各学校園、教育研究所等の研修会に出向き、研究成果の発表も実施しています。

文部科学大臣賞受賞

小学校外国語活動における学習プログラム

小学校家庭科 1食分の食事づくり教材

平成22年度研究事業で作成したデジタル教材が公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センター主催の「学習デジタル教材コンクール」で「文部科学大臣賞(団体)」を受賞しました！
教育学習情報システムからダウンロードできます。ぜひ活用ください。

■ 個に応じた対応や支援の方法をアドバイスする 相談事業

発達障害等の子どもについて、学校や家庭での様子等を聞き取り、必要に応じて各種心理検査等を実施し、総合的に判断したうえで、その子どもに合った学校園・家庭での対応や配慮等の具体的支援について、相談員がアドバイスします。医療機関等との連携も行っています。

対象	本人(幼児・児童・生徒)、保護者、教職員等
方法	電話相談(電話のみの相談) 来所相談(来所しての相談)
相談日	月曜～金曜(センター休館日を除く)
相談時間	9:30～16:30
連絡先	077-588-2311



■ 学校園のニーズに合わせて具体的な支援をする 学校支援事業

- ◆教育学習情報の提供
 - 教育学習情報システム
- ◆教育の情報化
 - しがe-センター
- ◆出前支援と出前発表
 - 学校園の研修・研究のサポート
 - 研究成果の普及



ID、パスワードでログインしてください。



様々な教育用コンテンツが利用できます。

○カリキュラム支援室
県内の学校園の先生方を支援するために、教育学習情報の提供等、特色ある学校づくりや授業力向上を支援するカリキュラムサポートを行っています。

○教育の情報化推進事業
市町教育委員会や各校で実施される教職員向け研修会のサポート事業を行っています。各校での研修に当センターのスタッフを講師として派遣します。



役立つセンター・出かけるセンター